



避難行動の早さが命を守ります

竜巻への備え

近年の主な竜巻被害

2012年7月5日 **檜木・鬼沢地区**

幅200メートル・長さ1.8キロメートルにわたって集落や農地を通過。りんごの落果や倒木など、農業被害も多く発生しました。



写真提供：弘前市

けが人	1名
建物など被害	99棟
車両被害	7台
停電	最大486戸

発生前の備え

気象情報(竜巻注意情報)の入手

竜巻注意情報が発表された場合には、まず周囲の空の状況に注意を払ってください。

Check 前兆(前ぶれ)現象を知る

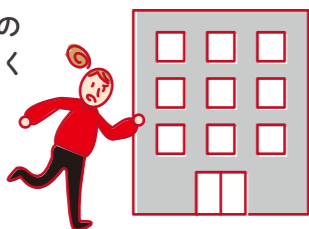
これらの現象を感じた時は、早めに避難場所を確保してください。

- 空気がひんやりとしてきた
- 黒い雲が近づいてきた
- 耳鳴りがする
- 大粒の雨やひょうが降り出す
- 雷の音や光を見聞きする



竜巻を目撃したら?

- 頑丈な建物の中に避難し、1階の窓がない部屋に移動する。カーテンを閉め、ガラスの飛び散りを防ぐ。
- 屋外では頑丈な建物の物陰に入り、身を小さくする。



ひょうにも注意!

大気の状態が不安定になると、ひょう(直径5mm以上の氷粒)が降り、車や農作物に被害をもたらすことがあります。



アップルロード沿いの大沢地区では、直径約1cmのひょうが降った(2014年9月)



落雷は命に危険を及ぼします! 停電対策も万全に!

雷への備え

落雷は場所や季節に関係なく発生し、樹木や建物など、高いものを通して落ちる傾向があります。グラウンドやゴルフ場などの開けた場所、山頂や山の尾根などの高いところでは、人に落雷する危険性が高まります。

発生前の備え

気象情報(雷注意報) 落雷情報の入手

落雷の状況をリアルタイムで確認できます。

Check 落雷情報はこれでチェック! **東北電力落雷情報**
<https://www.tohoku-epco.co.jp/weather>

停電対策

懐中電灯、携帯ラジオ、携帯電話・スマートフォン・充電器などは、すぐに持ち出せるように準備しましょう。パソコンなどの電子機器は落雷で故障する恐れがあります。雷が近づいたらコンセントから抜きましょう。

Check 24~26ページ



雷に遭遇したら

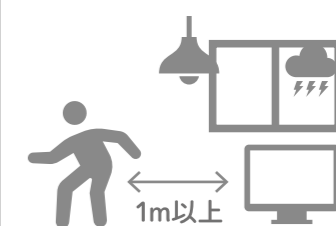
鉄筋コンクリート建築



自動車・バス・列車の中 (オープンカーはダメ)



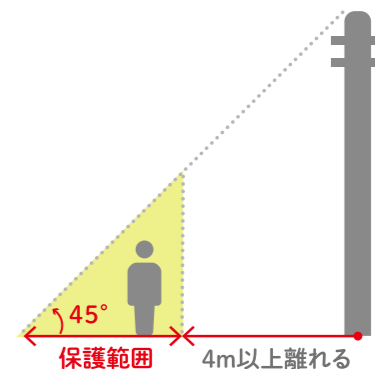
木造建築の中は電気器具や壁から1m以上離れて



安全な空間に避難できない場合は?

電柱、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げ、その物体から4m以上離れたところに退避します。

高い木の近くは危険! 木の全ての幹、枝、葉から2m以上離れてください。姿勢を低くして、持ち物は体より高く突き出さないようにしましょう。



資料: 気象庁

水害
土砂災害
暴風
竜巻・雷
台風
火山
火災
地震
停電
雪害